STOP！秘密保護法

あきらめてはいけない

「みんな集まれ！憲法があぶない！」に800名集まる

政府は、秘密保護法案を野党の一部を抱き込み、明日11月26日にも衆議院を通過させようとしています。

しかし、法曹界やマスコミ等各界の多くの人々が秘密保護法案に反対を表明していることもあって、反対運動は大きな盛り上がりをみせています。「国民には知らせない。知ろうとしたら懲役10年」の重罪という希代の悪法を絶対に成立させてはいけません。

この危険かつ緊迫した状況のなかで、私たちは11月20日、関内ホールにおいて、少年期に戦争を経験した「少年H」の作者である妹尾河童さんをメイン講師にした「みんな集まれ！憲法があぶない！！」という集まりをもちました。

「河童」というお名前は本名だそうです。河童さんは、家庭裁判所に対し、名前の変更を自分一人で申し立て、最初は裁判官に「難しい」と突き放されながらも、最後は変更を勝ちとったとのことです。「少年H」についても、出版社から「戦争の本は売れない」と言われても、あきらめるどころかむしろ「よーし！打ち破ってやる！」と取り組んできたことが明かされました。河童さんの生き様が、「少年H」から「大人河童」となりました。

「少年H」の本では、子どもの目線で書き、表現もシンプルに書くことなど気を使いながら書いたとのこと。

多くの参加者から「伝えることの難しさと、大切さを教えて下さり、目からうろこでした。明日から早速実行」、「自己満足に陥らず、『伝える』伝え方を意識して頑張ろうと感じました」などの感想が寄せられました。

ところで「少年H」の本には、天気予報も「秘密」とされ新聞に載らないということ、列車からみえる海辺を見てはいけないとして遮断カーテンをおろしたことも書かれています。秘密保護法案も成立したらきっとこうなるのだと思いました。法律が一人歩きするのは怖いと思います。

うたう弁護士九条の会のバンド演奏も好評で、カンパも10万をこえるものとなり、「勇気と力をもらった。私たち大人が諦めてはいけないと改めて思った」（感想文）。まさに「たたかいはこれから、ここから」です。

2013年（平成25年）11月22日　金曜日　神奈川

諦めず戦争伝えて

妹尾河童さん 横浜で講演 護憲と平和訴え

戦争を伝える重要性を強調した妹尾さん＝横浜市中区の関内ホール

作家や舞台美術家として活躍する妹尾河童さん(83)の講演会が20日夜、横浜市中区の関内ホールで開かれた。妹尾さんは代表作「少年H」に触れながら、次の世代に戦争とは何かを伝える重要性を強調。「小さな声でもいいから、伝えることを諦めないでほしい」と訴えた。

同作は、太平洋戦争の時代をたくましく生きた少年とその家族の姿を描いた自伝的小説。現代の子どもたちが太平洋戦争のことを知らない実態に「大人たちがちゃんと伝えてこなかったからだ」との危機感を強くしていた妹尾さんは、「大きな声でただ言うより、一つのエピソードがなければ伝わらない」と、子どもたちでも分かりやすい文章で、その時代の姿をありのままに描こうとしたと明かした。

憲法改正草案をまとめるなど、自民党が改憲を目指していることにも言及。「戦争への道を歩み始める最初の分かれ道に来ていないか」と懸念を表明し、「戦争はよく耳を澄まさないと聞こえてこないようなところから始まってくる。自分たちの手で平和を守っていかなければいけない」と呼び掛けた。

講演会は、護憲を訴える有志でつくる実行委員会が主催し、約800人が参加した。

（川口　肇）

みんな集まれ！憲法があぶない！！実行委員会ニュース　No．1

2013年11月２５日　発行

連絡先　横浜市中区相生町1-15
第二東商ビル４b
九条かながわの会